

| 令和2年度 第3回八王子市食育推進会議 | |
|---------------------|---|
| 日時 | 令和2年10月15日(木) 15時30分～16時30分 |
| 場所 | 八王子市役所 職員会館 第1会議室 |
| 出席者氏名 | 委員 佐藤咲、土門陽子、榊田明信、峯尾誠、星野厚子、橋本直樹、松本勉、松岡誠子、山本徹、河村智里、小池さとみ、内藤里美、浦野慎一 |
| | 事務局 渡邊健康部長、杉野健康増進担当課長、松浦主査、土井、山尾 |
| 欠席者氏名 | 大村香織、米津元一、小川賀世子 |
| 議事 | (1) 第3期八王子市食育推進計画素案について (2) 今後のスケジュールについて (3) その他 |
| 配布資料 | ・次第 ・資料1 第3期八王子市食育推進計画 素案 ・資料2 今後のスケジュール ・資料3 第3期八王子市食育推進計画の特徴 ・参考資料1 第3期八王子市食育推進計画策定に向けた経過 ・参考資料2 第2回庁内連絡会、食育推進会議意見シート |
| 1.開会 | |
| 発言者 | 内容 |
| 健康増進担当課長 | 定刻となりましたので、令和2年度第3回八王子市食育推進会議を開催いたします。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。本推進会議は設置要綱にもございますように、八王子市における食育に関する取り組みを総合的な見地から協議、意見交換を行う場としております。会議は原則、公開となっております。また、会議録作成のため録音させていただきますので、ご了解ください。 |
| 事務局 | 本日の傍聴人はいますか？ 傍聴の方はおりません。 |
| 健康増進担当課長 | いないようですのでこのまま進行します。 それでは、開催に先立ち、健康部長よりご挨拶をさせていただきます。 |
| 健康部長 | 健康部長(八王子市保健所長)の渡邊でございます。 皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席をいただき、誠にありが |

| | |
|----------|---|
| 健康部長 | <p>とうございます。</p> <p>第1回、第2回においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、書面会議とさせていただきました。書面での会議であり、こちら側の意図が不明瞭な部分があったかとは思われますが、計画の策定をする上で大変貴重な御意見を賜り、ありがとうございました。</p> <p>本日は、委員の皆様と総合的な視点での意見交換を行いたいと思っておりますので、みなさま忌憚のないご発言いただきますようお願いいたします。</p> <p>どうぞ、よろしく願いいたします。</p> |
| 健康増進担当課長 | <p>ここから、会議の進行を健康部長の渡邊所長にお願いしたいと思えます。</p> |
| 健康部長 | <p>それでは、これより私の方で会議を進めさせていただきたいと思えます。</p> <p>まず会議の座席については、コロナウイルス感染症対策のため、このような形でソーシャルディスタンスを保たさせていただきます。ご理解をお願いいたします。</p> <p>それでは、事務局より配付資料の確認をいたします。</p> <p>事務局、お願いいたします。</p> |
| 事務局 | <p>それでは、配付資料の確認をさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1 第3期八王子市食育推進計画 素案 ・資料2 今後のスケジュール ・資料3 第3期八王子市食育推進計画の特徴 ・参考資料1 第3期八王子市食育推進計画策定に向けた経過 ・参考資料2 第2回庁内連絡会、食育推進会議意見シート <p>以上、不足等ありませんでしょうか。</p> <p>足りない方は挙手願います。事務局よりお届けいたします。</p> |
| 健康部長 | <p>議事に入る前に、本日が今年度初めての会議となりますので、時間が限られていますが、「委員の皆様による自己紹介」をお願いしたいと思います。</p> <p>後程、情報交換の時間を設けておりますので、この場では所属とお名前のみをおっしゃってください。</p> |
| 各委員 | <p>【自己紹介】</p> |

事務局

は食生活が乱れないような子どもの頃からの働きかけ、また、食育への関心が高まらなくても、無理せず意識せずコンビニでも野菜を手にとったり、外食や中食でも健康に配慮したメニューを選択したりするような食環境を整えていき、V字をフラットにしていくことを特徴にしていきたいと思います。このことが実現するためにも、食事は一汁三菜であったり、主食、主菜、副菜のバランスの取れた食事であったり、1日野菜350gを摂取しましょうという理想を押し付けるのではなく、カップラーメンを食べても良いけど、サラダをつけて汁は飲み切らない。ファーストフードを食べてもたまにポテトのセットではなく、サラダセットにする。唐揚げではなくサラダチキンにしてみる。料理は家庭で全て手料理ではなく、冷凍食品、レトルト食品、カット野菜、市販の惣菜などを上手に活用する方法など、対象者に合わせて、ハードルを下げる時には下げた上での支援も必要になってくるのではないかと思います。

それでは素案の説明に入ります。

資料1素案をご覧ください。現行計画と比較して新たに付け加えた点や注目していただきたい点に絞って説明させていただきます。

まず、第1章の計画策定の背景と基本的事項については、3ページにあります、SDGsの視点を新たに盛り込み、17のゴールのうち7つのゴールを本計画では関連する目標として掲げております。続いて、4ページ、計画の位置づけとして一番上に本市の基本構想・基本計画があり、上位計画の保健医療計画にぶら下がる計画の一つであると位置づけています。策定の経緯として、本会である食育推進会議、庁内関係所管との庁内連絡会、昨年度実施した市民意識調査、12月中旬から予定しているパブリックコメントを挙げています。また、6ページにあるとおり、計画期間は国や都の食育推進計画と同時期、同期間の5ヶ年で考えております。

続いて第2章に入りまして、食育の視点から特色として挙げられる事柄を掲載しております。8ページの人口については、本市は学園都市であり、21の大学、短大があるため20歳前後の人口が多いことと、全国的なことですが、単身世帯が増加傾向にある。また、健康状況については特定健康診査の結果が非肥満高血糖、血糖・血圧・脂質について全国平均を上回っており、そのような生活習慣病を起因とする死因が多いことを掲載しております。その後農業、食文化を紹介し、12ページには昨年度食ロス法が施行され、市民の関心が高まっている食品ロスについて触れています。

また、13ページからは書面にて開催した第1回推進会議の資料でもある昨年度実施した市民意識調査の抜粋となります。前回資料の抜粋でもあり、冒頭で説明した、Vの字の話でもあるため、お時間の都合もあるので、割愛させていただきます。

| | |
|-------------|---|
| <p>事務局</p> | <p>続いて 28 ページからが現行計画の成果です。冒頭でお話した表になります。様々な所管が多く取組みを進めることが出来ております。特に子どもに対する取組みは充実しておりますが、高校生から大人に対する取組みと比較すると偏りがあります。また、計画途中からイベントや教室の開催等だと食育に関心が高い方が対象になるため、関心が低い方へのアプローチの充実についても取組みははじめました。</p> <p>ここまでの社会情勢や本市の食育に係る特色や市民の意識現行計画の評価等を総合して、30 ページに記載しているとおり3つの論点に整理しました。1 つ目は食や健康に関する課題は年代によって異なるとともに、ライフスタイルも多様化しているため、それぞれのライフステージに合わせた取組みの充実がより一層必要だと考えます。特に高校生から 20 代にかけて食育への関心や食生活が乱れる傾向があるため、子どもの頃やその時期に適切な食を選択すること出来るよう働きかけることが重要だと考えます。</p> <p>2 つ目は、食の安心・安全の確保や食文化の伝承、農業や地元農産物の活性化、食品ロスの削減等の食の循環の理解・促進など、食の「今」を守り、「未来」をつくるための取組みが必要だと考えます。</p> <p>最後の 3 つ目は、市内における食育推進活動が広がっていくために、行政だけではなく、市民、食育団体、飲食店、スーパーマーケット等と連携し食育の輪を広げていく取組みが必要だと考えます。関心が高くない方に対しても様々な場面で押しつけがましくなく、無意識に抵抗感なく食育の情報が入ってきて、自然と少しだけでも食生活が改善する市民が増えるような取組みが増やしていければと思います。また、コロナ禍における食育の在り方として、デジタル化の推進も重要だと考えます。</p> <p>以上、ここまでが 1 章、2 章の説明となります。</p> |
| <p>健康部長</p> | <p>第 1 章、第 2 章までで何かご意見やご質問はございますでしょうか。</p> <p>ご意見がないようなので、会議を進めさせていただきます。</p> <p>第 3 章について事務局、よろしく願いいたします。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>33 ページからの第 3 章で第 3 期計画の具体的な内容について説明いたします。34 ページをご覧ください。将来像については第 1 期計画からの継続として、「食を大切に作る人々を育むまち」として、食と育むという育の漢字を大きくし、2つの文字をとって食育を表現しております。続いて基本目標についても基本計画と大きくは変更しておりませんが、基本目標1「望ましい食生活を送る」を「望ましい食習慣を身につける」に、基本目標2「食の基本的な知識、マナー、スキルを身につける」を「食の基本的な知識、スキル、</p> |

| | |
|------|---|
| 事務局 | <p>マナーを養う」に、基本目標3「食を通じて、家族、地域、自然とつながる」は変更ありません。</p> <p>その将来像及び基本目標を具現化する形として、先ほどご説明した 3 つの論点を踏まえて、3 つの施策の柱を設定しております。論点 1 に対しては「すべてのライフステージに応じた食育の「土壌づくり」」を設定しました。ライフステージに着目し、多様化するライフスタイルや年代によって異なる食育への課題に対してアプローチするために、ライフスタイルも第 3 期計画では意識したいと思います。また、若い世代の食育を推進する必要性を感じているため、ライフステージを健康日本 21 及び本計画の上位計画である保健医療計画と同様にライフステージの区分を現行計画の5つから成人期を壮年期と中年期に分けて 6 つに設定しております。</p> <p>論点2に対しては「食を「育てる」「まもる」」というタイトルを設定し、食の安全安心の確保、食文化の伝承、農業や地場産野菜の活性化や生産から消費までの食の循環への理解を高めることなど、食を育てること、まもることに焦点を当てて食育を推進していきます。</p> <p>論点3に対しては「オール八王子で食を「つなげる」「むすぶ」」というタイトルを設定し、すべての市民が食育に関心を持ち、食育に関する正しい知識・情報を適切に得られるきっかけづくりが出来るようなまちづくりを、行政だけではなく、市民、食育団体、飲食店やスーパーマーケット、企業、学校等と協働・連携をして推進していきます。</p> |
| 健康部長 | <p>第 3 章についての説明は以上となります。</p> <p>ここまでの第 3 章で何かご意見やご質問はございますでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>質問よろしいですか。施策の柱 3 にある食育に関わる個人や団体とは具体的にはどういった方々なのでしょう。</p> |
| 事務局 | <p>様々な地域で活動をしていらっしゃる栄養士会や食育の団体が八王子の地域には複数あります。その団体と行政がネットワークを作っています。今、子ども食堂や地域食堂などが増えてきています。そういう団体と市がネットワークづくりを行うよう意識しているところです。また、病院の医師、歯科医師とのつながりがあります。</p> |
| 健康部長 | <p>本日までご出席いただいている食育推進委員の皆様がまさにそれにあたります。</p> <p>その他にご意見、ご質問ありますか。</p> <p>それでは第 4 章に進ませていただきます。</p> |
| 事務局 | <p>続いて 37 ページから第 4 章に入ります。38 ページ、39 ページが体系</p> |

事務局

図として先ほどお話しした内容を図にまとめており、39 ページ右部には施策をさらに取組みとして細分化しております。施策の柱1に関しては、先ほどお話ししたとおり、よりライフステージに応じた取組みを推進するべきだと考え、現行計画では重点項目をライフステージの中で「児童・生徒の食育の推進」「青年の食育の推進」「成人の食育の推進」とライフステージの時期に対して設定しましたが、39 ページの右部の取組み部分をご覧いただくとわかるとおり、ライフステージ毎に特に重点を置いた方がよいと思われる取組みに重点項目を設定しております。第3期計画で新たに設定したものは青年期の「大学における食育の推進」「若い世代における食育の推進」、壮年期と中年期の「多様なライフスタイルに合わせた支援」になります。具体的な重点項目として、青年期で食育への関心や食生活の乱れを起こさないようにと、市民意識調査で市に重点的に取り組んで欲しい取組みとして一番ニーズがあった、「保育園・幼稚園における食育の推進」と「小学校・中学校における食育の推進」を挙げています。また、冒頭で話をした関心が薄い割合が他の年代と比較して高い「大学における食育の推進」を重点項目に設定しています。壮年期については「多様なライフスタイルに合わせた支援」を重点項目に設定し、職場での食育の推進や外食産業等への健康に配慮した取組みの働きかけを取組みたいと考えます。そうすることで中年期以降の生活習慣病を減らしていきたいという考えがあり、それでも、生活習慣病を無くすことは難しいと思うので、中年期には生活習慣病等の発症予防と重症化予防を重点に設定しています。高年期に関しては食や健康を維持・増進してもらえよう「望ましい食生活を実践できるための支援」を設定しています。

施策の柱2に関しては、昨年度食ロス法が施行されたこともあり、国が現在策定を進めている食育計画のキーワードの一つにもなっていることから、食品ロスの削減を重点項目に設定しております。また、施策の柱3に関しては、先ほどもお伝えしたとおり、市内における食育推進活動を広げていくために、その担い手になる人や団体・組織などの育成や支援を重点項目に設定いたしました。

続いて40 ページから具体的な食育活動の内容になりますが、現行計画の取組み内容をベースに8月に関係所管課に庁内照会及びヒアリング調査を実施して、具体的な内容及び、活動主体を作成いたしました。第3期計画で新たな取組みに関しては42 ページの中段食育リーダー研修の実施のように具体的な活動の前に新規と入れております。今回の会議資料としては新規と入れておりますが、最終的な計画書を完成する時には新規の文字は抜く予定でおります。また、現行計画での年度ごとの進捗評価を所管課にもらい、昨年度、食育推進会議で報告している際に、何を根拠に評価をしているのかわかりづらいとのご意見を頂いていたこともあり、成果指標を設定し現状、目標を全てではないですが、記載しております。ただ、この成果

| | |
|-------------|--|
| <p>事務局</p> | <p>指標を計画に掲載するか事務局でも悩んでいるところです。先日の庁内連絡会では活動指標に変更してはどうかなど様々な意見を頂戴しており、整理していきたいと考えております。</p> <p>その他に41ページや43ページのように事業紹介やコラムを設けております。この中で食育に関連する事業などの紹介をしたいと思っておりますが、現在掲載している内容はあくまで仮であり、写真等を入れて読みやすいものにしようと思っております、その雰囲気を見ていただければと思います。今後掲載する内容や文言については、担当所管と調整しながら進めたいと思っております。事業紹介とコラムに分けていましたが、コラムに統一でもよいかと思っております。</p> |
| <p>健康部長</p> | <p>第4章について皆さまからご意見等ありますでしょうか。</p> <p>ご意見ないようなので、第5章に進めさせていただきます。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>最後に55ページからが第5章となります。本計画の評価として、各基本目標に対して2つの指標を設定し、令和4年度を目途に中間評価、令和7年度が終わった段階で最終評価を行う予定で考えています。</p> <p>57ページの評価指標としては、事務局としてもまだ詰め切れておらず、案であるということをお聞きいただければと思います。関係所管との調整もまだ出来ておりませんし、本市の関連する計画との整合性を図れておりません。</p> <p>指標については、食育に関する市民意識調査の調査項目の設問から選び、基本目標1「望ましい食習慣を身につける」については、朝食の欠食率、健康のために「食生活に気をつける」を心がけている人の割合を設定しました。現行計画では、朝食の摂取率を評価指標としていましたが、国や都の計画の指標が朝食欠食率であることから、国や都の指標と比較するためにも欠食率にしたいと思っております。目標値については国は0%、都は0%に近づけるにしており、国の会議でも0%は不可能であるとの議論もあるため、都と同様に0%に近づける等の目標値であったり、国や都も全ての年齢で0%に設定していないので、国や都の動向を踏まえながら目標値を設定することも考えております。また、基本目標2「食の基本的な知識、マナー、スキルを養う」に関しては、現行計画同様「いただきます」「ごちそうさま」等のあいさつをする人の割合と重点項目に設定した「食品ロス」削減のために何かしら取り組んでいる人の割合を設定しております。基本目標3「食を通じて、家族、地域、自然とつながる」に関しては国の次期計画のキーワードの一つとして「様々な共食機会創出の推進」があることと地域食堂、子ども食堂が近年広がりを見せて、今後より充実していくとの考えで「平日・休日の3食すべて「ひとりで」食事をする人の割合」を掲げましたが、対象を子どもに</p> |

| | |
|-----------------|--|
| <p>事務局</p> | <p>限定するなり、全ての食事ではなく、夕食に限定するなり、検討が必要かと考えております。また、もう一つは都内随一の農業生産高を誇る本市として「八王子産の農産物を購入している人の割合」を設定しておりますが、農家の高齢化や農業を営む方の減少等の課題もあり、関係所管との検討が必要だと考えております。</p> <p>また、先日の庁内連絡会では欠食率や孤食などのネガティブな表現ではなく、摂取率や共食などのポジティブな表現の方がよいのではいかとの助言をいただいております。事務局で検討はしていますが、何か良い意見がございましたら、ご助言をお願いいたします。</p> |
| <p>健康部長</p> | <p>事務局の説明が終わりました。第1章～第5章まででご意見、ご質問等ございますでしょうか。</p> <p>一昨日実施した庁内連絡会において、変更を検討している箇所があります。第4章の食育活動の主な成果指標について、成果指標ではなく、活動指標という形へ変更いたします。さらに 57 ページ、第5章の文章の表現の仕方に関しては、皆様方からご意見を賜りたいと思っております。</p> |
| <p>委員</p> | <p>私は食育推進会議委員に発足当時から務めていて、38 ページに掲げている「食を大切にすると人々を育むまち」とあるが、食というどうしても食べることに集中してしまい、食べることにについて取り上げて進めている印象です。この食べ物自体を大切にするという視点も重要であると思います。6歳の娘がいるが、コンビニでの食事の際は残しても親は怒らないが、母親が作った食事だと母親がせっかく作ったものだから食べるように声をかけています。小さい子はもの自体の大切さが自分たちの世代に比べて薄れてきているように思います。食育となると食べることに焦点を当ててしまい、食べ物自体のことやありがたさについてこの会議に参加していてあまり着目していないように思います。</p> <p>なぜ「いただきます」「ごちそうさま」が必要なのか理由をちゃんと教えているのかという疑問があります。小さい子どもが何の意味もわからず、「いただきます」「ごちそうさま」をしているのでは意味がないと思います。食べ物自体に対しての大切さについてどのように考えていますか。</p> |
| <p>健康増進担当課長</p> | <p>保育園・幼稚園・小学校・中学校においては食べるだけでなく、食べ物という物自体の大切さについては伝えてきていると思われれます。</p> <p>でももしかしたらちゃんと理解できている子どもがあまりいないのではないかと思います。やはり食育計画という食べるものということで環境や食品ロスの視点が失われてしまいがちです。その他のマナー、伝統食などは心の健康にもつながっているということを訴えていきたいなという思いはあります。</p> |

| | |
|----------|--|
| 健康増進担当課長 | 事務局の中では考えているが、計画の取組みの中にどう埋め込んでいくかが議論となっております。特に青年期では食べることも選んでほしいけれども、これから子どもを育てるかもしれない、食に関わる仕事に就くかもしれない、そのような準備期にあたる時期であるため伝えていきたいとは思っているが、どうしたらよいのか検討しているところです。皆様からご助言をいただけないでしょうか。 |
| 委員 | 食品ロスについて、残さず食べることが必ずしも良いのか。その人の一定の量が決まっているので、残す勇気が大切であると思います。あるいは、提供する側がある程度人に合わせた提供の仕方をするなどの工夫をした取組みを進めることが重要ではないでしょうか。 |
| 健康増進担当課長 | 今進めているはちおうじ健康応援店と完食応援店の取組み項目にごはんなどの主食を小盛りサービスだけでなく、おかずの量の調整ができるお店を登録としています。 完食応援店は食品のロス削減に向けて進めているが、はちおうじ健康応援店は環境の健康だけでなく、体の健康のためにもこの事業を進めています。実際、小盛りにするサービスを利用しにくい場合も考えられるため、お店でできるサービスをPRするためのシールを作成し、飲食店に配布しています。 |
| 委員 | 食べものは体に直接影響するため、健康を考える上で食べ物そのものを自然と意識していくものではないでしょうか。 |
| 健康増進担当課長 | ご意見のとおり、私たちの体は日頃の食べたものでつくられているため、食べものそのものに焦点を当てて考えていく必要が大切だと思います。食についての知識があれば、自然と意識すると思われませんが、若い世代の食への関心が低いと意識調査から明らかになってはいますが、実際はどうでしょうか。大学生としての意見をぜひ伺えますでしょうか。 |
| 委員 | 私は食品ロスやマナー等に関して、大学が食物学科なので授業で学んでいるため知識がありますが、大学の他の学科であると知識がないと思われます。食品ロスについては、ごみのこと、食べ物を残す、捨てないなどとそれくらいの知識しかないので、知れる場所があるとよいと思います。 意見シートの意見にあったように広報誌で食育についてあまり触れていないように思います。大学生や若い世代が果たして、広報誌を読んでいるのかという課題もありますが、広報誌で食品ロスや食べること以外の事柄についての記事やコラム等で掲載するとよいと思います。そうすることで、広報誌を見た親世代から子世代へ伝わるのではないかと思います。 |

| | |
|----------|--|
| 健康部長 | 最近では Twitter などの SNS 等での発信も行っています。学生向けに「野菜を食べよう」というポスターを配付しました。それに併せてホームページで簡単に食べられる野菜料理の紹介をしています。 |
| 事務局 | 「野菜を食べよう」というポスターを市のホームページだけでなく、Twitter や Facebook、line 等で発信したところです。今後も SNS を活用しながら情報発信をしていき、より広い世代に見てもらえるように考えています。 |
| 委員 | Twitter やホームページですが、高齢になってくると検索の仕方が難しいなどから食のページに行きつかないことが考えられます。広報誌で食についての記事をシリーズ化してもらおうと誰の目にも留まりやすいのではないかと思います。 |
| 委員 | Twitter 等の SNS から必要な情報にたどり着くのが難しいとお話がありましたが、大学生からしてみると市の Twitter をフォローしたところで意味がない、お洒落な情報が流れてくるわけでもないという意見が多いと思います。フォローしたいと思うような情報を流す工夫が必要だと思います。 |
| 事務局 | 当事者を意識することが大切であり、大学生に発信したい情報は大学生と一緒に考えていきたいと思っています。ただ発信するだけではなく、受け手がどう受け取るか考える必要があると思います。 先ほど委員さんから SNS などが苦手な方もいるとお話があったと思うが、どの情報を誰に伝えたいかを明確にし、対象者に合わせた情報発信媒体を意識した取組みを第3期食育計画ではしていきたいと考えています。 |
| 委員 | 小・中学校での取組みでは、学校給食と連携しながら給食だよりを作成したり、学校からのお便りに食育の情報を入れて配付をしています。このような取組みを計画に取り入れることが大切だと思います。 |
| 事務局 | 今年度から給食センターが本市においても開始されました。今年度は2か所開設し、全中学校にあたたかい給食が届けられるように今後さらに広げていく予定です。皆で同じものを食べることも食育の推進につながるため進めてまいります。 給食センターには食育スペースといって地域に貸し出す食育のスペースも設けてあります。コロナの影響でまだ貸し出しを行っていませんが、地域の団体さんに使ってもらい、食育活動の輪が広がっていくことを期待したいと思います。 |
| 健康増進担当課長 | 先ほど食育は食べることだけではないため、施策の柱2の食を「育てる」「ま |

| | |
|----------|---|
| 健康増進担当課長 | <p>もる」が一番重要となるのではないかとその意見がありました。ライフステージの中でも食を「育てる」「まもる」において、何かできることを取入れるなど見せ方を工夫する必要があるのではないかと考えております。</p> |
| 健康部長 | <p>V字の底を上げるために若者の取組みをどう展開していくのかが重要な課題であると思われれます。また、中食や外食利用も増えてきていることから企業等で実施している取組みはありますでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>私たちの方では減塩商品を色々提供しています。最近では塩を使わずに塩を感じる商品を作っております。ただし、減塩商品を購入するのは一定のお客様になっており、一般の方の購入率は高くなく、減塩でない通常の商品の方が売れている状況です。そのほかに卵アレルギーの方用の商品などもありますが、一定の対象者が購入なさっています。今後も色々なお客様を対象に開発をしていきたいと考えております。</p> |
| 健康部長 | <p>ありがとうございます。そのほかにご意見はありますでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>資料3の冒頭の説明でV字を回復するとあったが、朝食だけに特化しているのでしょうか。また、逆になぜV字をフラットにしなければいけないのかと疑問に思いました。</p> <p>小さい頃は親が朝食を用意してくれるから朝ごはんを食べるが高校・大学生くらいから自分たちで買って食べるようになってきます。サラリーマンなど働いている世代になると朝食食べないと体に良くない、朝食を食べると体調に良いなどと実感し、自分の中で理解できると思います。</p> <p>コンビニなどで自分で選び購入することが高校生頃から増えていくため、特に気を付けなければいけないのではないのでしょうか。</p> <p>若い世代がコンビニ食を多く利用しているからといって必ずしも不健康ではなく、50代・60代に比べて元気であると思います。どうしてV字の底上げをするのかは、心の健康なしに理由とならないと思います。</p> |
| 事務局 | <p>あくまで朝食は一例であり、市民意識調査ですべての年代で同じ質問をしているのが朝食であったことから朝食を例に挙げています。そのほかにも食育の関心や食生活で気を付けている割合なども若い方が低く、年齢が上がるにつれ、食行動も上がるというように比例している傾向があります。</p> <p>やはり、親の行動が子どもに影響を与えるため、食育を進める必要があると思います。</p> <p>太ってきたからや健康診断の結果が悪かったから気を付けるのでは遅いのではないかと考えています。それがきっかけになるのではなく、健康であるときから何かのきっかけがあって食行動が改善していくようになるかと将来的</p> |

| | |
|----------|--|
| 事務局 | <p>に健康寿命の延伸や生活習慣病予防につながるのではないかと考えています。ライフステージの中で子どもが親や保護者から離れる時期のこの辺りの食生活を下がらないような仕組みにするにはどうしたらよいのかご意見いただきたいと思っております。</p> |
| 委員 | <p>朝食を摂らないことが問題だというのが、自分の体験でいえば夜しっかり睡眠をとれば朝はお腹が空いていると思います。生活リズム自体が崩れていると朝はお腹が空かないから食べなくても平気だというようになってしまいます。生活習慣や生活リズムを整えるところから始めないと生活習慣病は改善していかないのではないかと思います。</p> |
| 委員 | <p>先ほどの意見に対し対立したい訳ではないが、青森や秋田は朝食の摂取率は全国と比べて高いが、大学進学率は悪く、厚生労働省が発表している平均寿命では秋田はワースト5です。朝食の摂取率が必ずしも健康になるとは考えにくいと思います。 行政等が進めている「早寝 早起き 朝ごはん」の標語が本当に食育として相応しいのかどうか疑問を抱いています。ただ食育は漠然としていて難しいと思います。</p> |
| 健康増進担当課長 | <p>朝食についてはせめて子どもの頃は朝ごはんを食べて欲しいという思いがあります。近年、ライフスタイル変わってきておりますが、経済的に難しい状況でなければ朝食を食べている小、中学生が増えて欲しいと思っております。ライフステージの変化で朝食を食べなくなってしまう時期があっても朝ごはんを食べると元気になるという実感があれば、自分が親になった時に思い出して、お子さんに伝えてくれるのではないかと考えています。 また、食育の取組みを数値化して計ることは難しく、この計画を立てて何が良かったのかということを示すことも容易ではないが食は生きる上で必要不可欠であり、とても大事であるため取り組んでくださる団体が増え、横のつながりが広がっていけば良いなど考えております。食育は個人だけでなく、地域の団体など網目から落ちないように支えるものがたくさんあるような食育を推進していきたいと考えております。</p> |
| 委員 | <p>先ほど朝食の欠食についてマイナス的な印象があるのではないかという意見があったと聞きましたが、欠食率って一見マイナスに感じるが少しだけやっただけでも評価ができる指標ではないかと私は思いました。 欠食というとマイナスだが実は一回だけでも頑張れば欠食じゃないという評価を挙げられるので、マイナスではないのではないかと思います。どうしても休日は睡眠を優先してしまうが、平日は朝ごはんを食べていると欠食ではないとなるので欠食率が下がるのではないかと思いました。</p> |

| | |
|------------------|---|
| 健康部長 | <p>少し頑張れば改善が見えるポジティブな意味合いも含まれているという意見をいただき、ありがとうございます。 皆様には色々ご意見をいただきました。 それでは、議事の 2「今後のスケジュール」について事務局より説明をお願いいたします。</p> |
| (2)今後のスケジュールについて | |
| 発言者 | 内容 |
| 事務局 | <p>続きまして今後のスケジュールについて事務局より説明いたします。 資料 2 をご覧ください。3 の素案についての会議を本日举行させていただきました。第 3 回庁内連絡会と食育推進会議の 2 つの会議でいただいたご意見をもとに計画を固めていきたいと思っております。今後、庁内に確認の照会を実施し、その意見をもとに修正を行い、付議案件調整会議及び政策会議にかける予定です。それを経て、12 月中旬からパブリックコメントを実施し、出た意見をもとに計画を完成させたいと思います。 次回の会議は 2 月 18 日を予定しております。パブリックコメント等の意見を踏まえた上で、さらにブラッシュアップさせて皆様にお見せできればと思います。会議の開催が近づいてきましたら、ご連絡させていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> |
| 健康部長 | <p>その他で何かありますでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>先ほど第 4 章について説明いたしましたが、食育活動の内容のところでは取り組み内容が行政の取り組みばかりになっております。団体の皆様方が取り組んでいる食育活動で掲載していただけたらご連絡ください。 ぜひ、皆様と一緒に計画を策定していきたいと思っておりますので、ご意見等ありましたら事務局までよろしくお願いいたします。</p> |
| 事務局 | <p>皆さんに配付させていただきましたが、八王子市食育ソングの「いただきます」という CD を保健給食課の方で作成いたしました。八王子市の観光 PR の特使であるフラチナリズムの方々に楽曲提供をしていただきました。皆さんに聞いていただいて、より食育に関心を持ってもらうことと食育推進会議の中でもあったように「いただきます」や食への感謝の気持ちなど食育の計画につながる部分だと思いますので、ぜひ、日々の活動をする際にご活用いただけたらと思います。併せて「あなたのみちを、あるけるまち八王子」のブランドメッセージのロゴが入った付箋をお渡しいたしましたので、身近に感じていただけたらと思います。さらに、はちおうじ健康応援店のクリアファイルもお渡しさせていただきました。まだ市民の方に知っていただけてな</p> |

| | |
|--------|--|
| 事務局 | い課題がありますので、ぜひ会話の中でご紹介いただけたらと思います。 |
| 3.閉会挨拶 | |
| 発言者 | 内容 |
| 健康部長 | すべての議事が終了しました。 本日はお忙しい中、御出席いただき、ありがとうございました。 皆様にいただいた意見を参考に次期計画を検討させていただきますので、 よろしく願いいたします。ありがとうございました。 |